



秋の健康診断の時期になってきました。園では年に2回、内科健診、歯科検診、検尿検査を行っています。それぞれの健診で指摘が多い疾患・異常を紹介します。

【歯科検診】

- 齲歯(C)・虫歯のことを指しています。虫歯があった場合には、乳歯であっても早めの治療が大切です。早めに歯科医へご相談ください。
- 咬合異常・かみ合わせや歯列の状態が、発音や食事などの口腔機能に影響を及ぼすと判断された場合に記載されます。こちらも歯科医へご相談ください。
- 乳歯の晩期残存・年長児さんにかけて多くなりますが、永久歯が生えてきているのに、乳歯が抜けていない場合です。歯並びに影響するので、こちらも歯科医にご相談ください。

【内科健診】

- 心雑音・園の健診では聴診によって心雑音を指摘されます。小児科へご相談いただき、心電図検査を受ける方もおられます。日常生活に配慮が必要な場合には、主治医と連携を取っていきます。

【検尿検査】

- 尿蛋白、尿糖、尿潜血の項目において、マイナス以外の結果であった方には、再検査を促しています。尿蛋白が3+であった場合には、緊急で受診をした方が良いと言われています。園での健診は、腎炎性疾患の早期発見を目的に行っていますので、再検査の対象となった方は、小児科・泌尿器科にご相談ください。

★また、指摘が多いわけではありませんが、内科健診の項目にある「脊柱」では側弯症(そくわんしょう)の疑いがないかを確認しています。側弯症とは、背骨が何らかの理由で湾曲してしまうもので、思春期以降に発症が多いとされていますが、園児の年齢での発症例もあります。立った姿勢で、肩の高さに左右差がないか、肩甲骨の高さと突出の程度に左右差がないか、ウエストラインが左右対象であるかなどを視診で観察しています。指摘があった場合には、整形外科にご相談ください。

★歯科検診・内科健診に関しては、保護者の方からの質問を園医に伝えることも可能ですので、何か質問事項のある場合は前もって担任までお伝えください。

【健診結果の確認について】

健診後、「おはようブック」に結果を記載しています。指摘事項のあった方には職員からお伝えをいたします。また、年に2回「あゆみ」でも身体測定・健康診断の結果を配布しています。上記以外にも記載内容でご不明な項目があった場合には遠慮なく職員までお尋ねください。早期発見・早期治療でこどもたちの健康を守っていきましょう。

看護師より

